

# 平成25年6月期(第22期) 第2四半期 決算ハイライト

平成25年2月5日  
アクモス株式会社

目次	■ 第22期 第2四半期総括……………	2	■ 参考資料……………	16
	■ 連結業績ハイライト……………	3	▪ (info.)アクモスグループ事業	
	■ 連結 売上高・営業利益の推移……	4	▪ (info.)アクモスグループ一覧	
	■ 連結 キャッシュ・フローの推移……	5	▪ 単体 売上高・営業利益の推移	
	■ 連結貸借対照表……………	6	▪ 単体貸借対照表	
	■ 連結損益計算書……………	7	▪ 単体損益計算書	
	■ 連結キャッシュ・フロー計算書……	8		
	■ 連結業績 セグメント別増減……………	9		
	■ セグメント情報 ITソリューション事業…	10		
	■ セグメント情報 ITサービス事業……	11		
	■ 第22期 経営計画の進捗について……	12-14		
	■ 第22期 業績予想……………	15		



## 第22期 第2四半期 総括

売上高	1,184百万円	(前年同期比 9.7%減)
売上総利益	371百万円	(前年同期比 6.0%増)
営業利益	△61百万円	(前年同期比 91百万円増)
四半期純利益	△60百万円	(前年同期比 84百万円増)

### 景気回復の期待は高まるも、事業環境の先行きは不透明

- ・ 製造業の基幹システム更新や通信事業者のシステム投資などの開発案件は増加するも、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は続く
- ・ 運用サービス単価は低下傾向

### ITソリューション事業(アクモス・ACMOSソーシングサービス)は、売上が前期比3.4%減少

- ・ 発注金額の抑制傾向が継続
- ・ 節電対策シフトの影響減少、業務管理強化、外注抑制により、営業利益は前期より111百万円損失改善
- ・ アクモスにて、システムインテグレーション関連製品の共通ブランドとして『SYMPROBUS』の使用を開始、CTIを活用した通信指令システムの受注活動を推進

### ITサービス事業(ジイズスタッフ)は、エクスカルの連結除外の影響※により売上・営業利益ともに減少

- ・ ジイズスタッフは、新規取引先開拓は順調なものの売上規模が少額のため、売上は前期比10.9%減少
- ※エクスカルは、当第2四半期より持分法適用会社とし連結除外とすることとしたため、第1四半期の業績のみ含んでおります

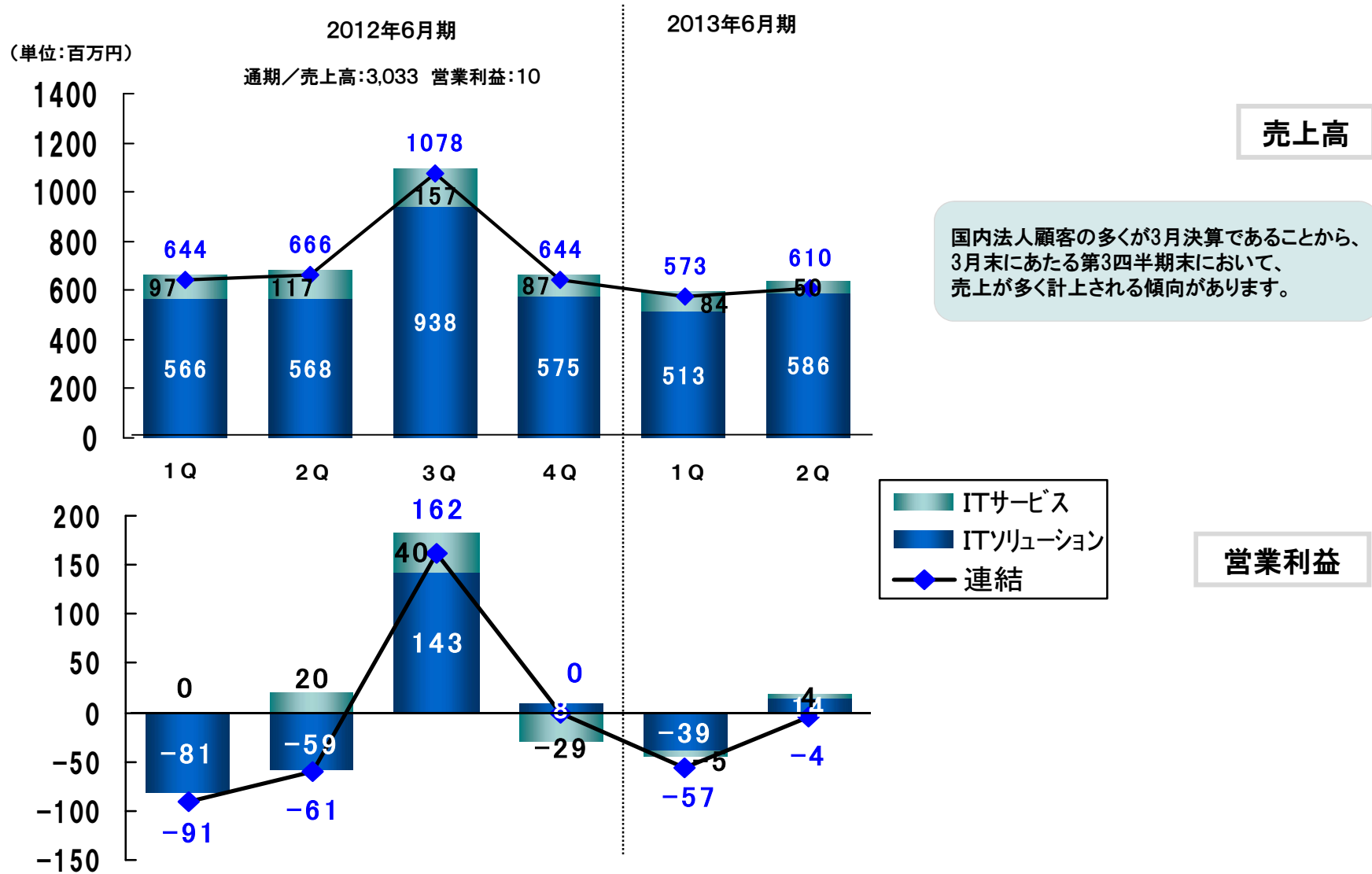
# 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

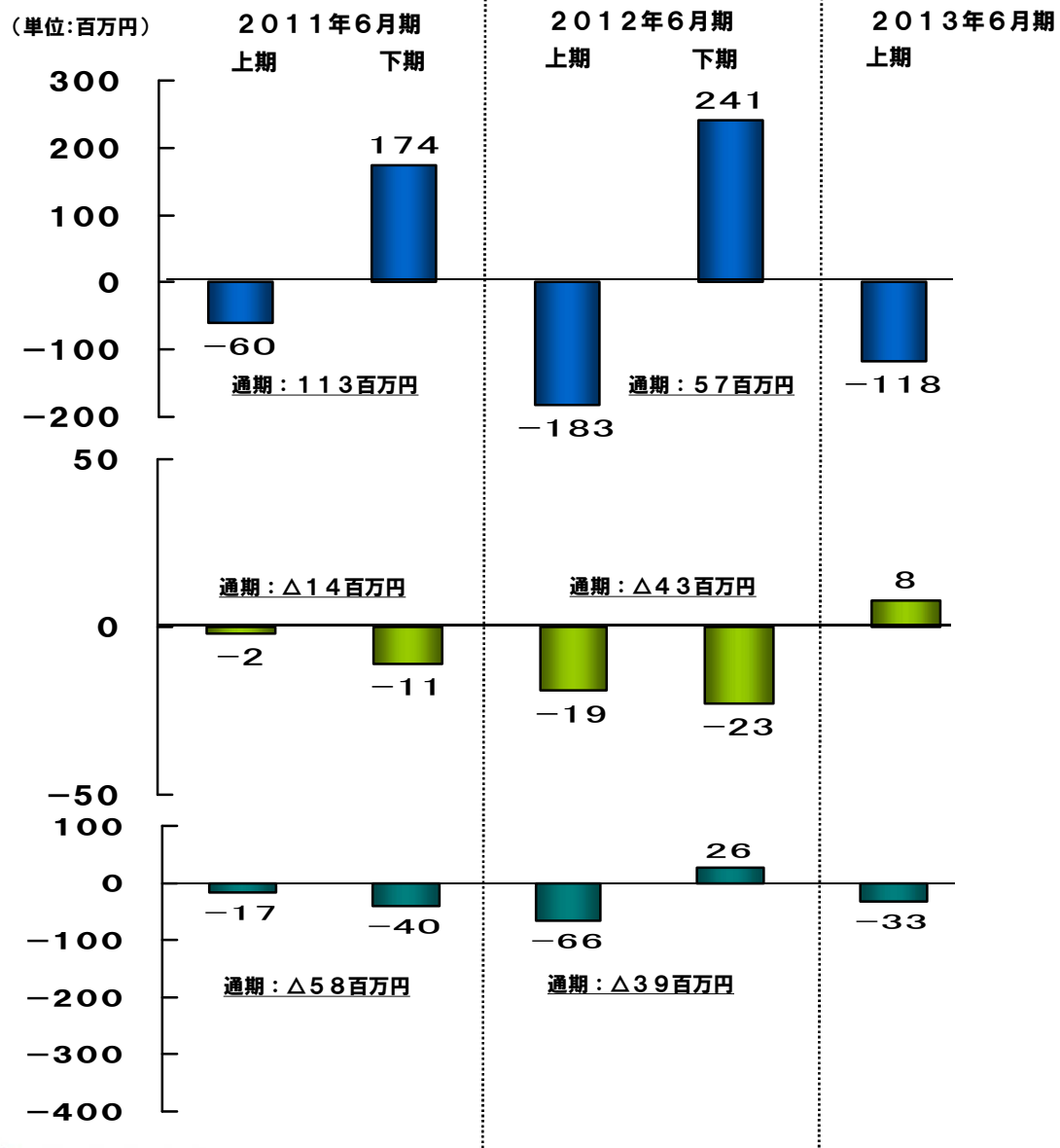
	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	第2四半期	第2四半期		
<b>売上高</b>	<b>1,310</b>	<b>1,184</b>	<b>△126</b>	<b>△9.7%</b>
ITソリューション	1,134	1,096	△38	△3.4%
ITサービス	215	134	△80	△37.4%
<b>営業利益</b>	<b>△153</b>	<b>△61</b>	<b>91</b>	<b>—</b>
ITソリューション	△150	△39	111	—
ITサービス	16	△1	△18	—
<b>経常利益</b>	<b>△140</b>	<b>△61</b>	<b>79</b>	<b>—</b>
<b>当期純利益</b>	<b>△144</b>	<b>△60</b>	<b>84</b>	<b>—</b>

※当四半期よりのれん償却額を各セグメントに配分しており、それに合わせて前四半期の数値を修正しております。  
 ※各セグメントの売上高には、内部売上高を含んでおります。

# 連結 売上高・営業利益の推移



# 連結 キャッシュ・フローの推移



## 営業キャッシュ・フロー

ITソリューション事業は、下期3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュが下期に増加する傾向にあります。

## 投資キャッシュ・フロー

## 財務キャッシュ・フロー

# 連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,232,719	961,784	買掛金	49,398	48,409
受取手形及び売掛金	376,323	328,927	長期借入金(1年内)※1	125,000	125,000
たな卸資産	28,770	105,939	未払金	72,325	66,237
その他	63,850	27,766	未払費用	159,002	101,563
流動資産合計	1,701,664	1,424,417	その他	90,428	68,564
有形固定資産	188,872	186,540	流動負債合計	496,154	409,776
無形固定資産	257,685	229,037	長期借入金	118,750	96,250
投資その他の資産	68,957	※2 119,776	その他	18,402	12,793
固定資産合計	515,515	535,355	固定負債合計	137,152	109,043
			負債合計	633,307	※2 518,819
			純資産の部		
			株主資本合計	1,507,182	1,437,391
			評価・換算差額等合計	3,063	3,562
			少数株主持分	73,626	※2 0
			純資産合計	1,583,872	1,440,954
資産合計	2,217,180	※2 1,959,773	負債純資産合計	2,217,180	1,959,773

※1. 前期末・当期末ともに、短期借入金を80,000千円含んでおります。

※2. 連結子会社であったエクスカルを当第2四半期期首より持分法適用会社としたことにより、エクスカルの第1四半期末における資産、負債及び少数株主持分が減少し、資産の部の関係会社株式が増加しております。

# 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	第2四半期	第2四半期		
売上高	1,310,952	1,184,035	△126,916	△9.7%
売上原価	960,284	812,203	△148,080	△15.4%
売上総利益	350,668	371,832	21,164	6.0%
販売費及び一般管理費	503,697	432,900	△70,797	△14.1%
営業利益	△153,029	△61,067	91,961	—
営業外損益	12,524	△231	△12,755	—
経常利益	△140,505	△61,298	79,206	—
特別損益	△402	△78	323	—
税金等調整前当期純利益	△140,908	△61,377	79,530	—
法人税等	5,877	4,262	△1,615	—
少数株主損失	2,127	5,548	3,421	—
当期純利益	△144,658	△60,091	84,566	—

売上原価  
節電対策シフトの影響減少  
業務管理強化により、  
外注費を抑制

販売費及び一般管理費  
研究開発費が  
前期比で29,836千円減少

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,512	△118,922	64,589	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,866	8,212	28,078	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,042	△33,370	32,672	—
現金及び現金同等物の増減額	△269,421	※ △201,142	68,279	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,169	1,052,216	△24,953	△2.3%
現金及び現金同等物の期末残高	807,748	851,074	43,325	5.3%

※株式会社エクスカルの連結除外による現金及び現金同等物の増減額△57,061千円が含まれております。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

のれん償却額27,882千円、税金等調整四半期純損失61,377千円、棚卸資産の増加77,169千円

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形無形固定資産の取得による支出10,584千円、貸付金回収による収入14,043千円、  
定期預金預入・払戻による純額4,800千円

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済22,500千円、配当金の支払9,244千円



# 連結業績 セグメント別増減

(単位:百万円)

2012年6月期2Q累計

1,310

売上高

ITソリューション

▲38

情報処理サービス

▲12

IT製品の  
テストング(1Qのみ※)

▲67

全社消去

▲8

2013年6月期2Q累計

1,184(Δ126)

2012年6月期2Q累計

Δ153

営業利益

ITソリューション

+111

情報処理サービス

▲10

IT製品の  
テストング(1Qのみ※)

▲7

全社消去

▲0

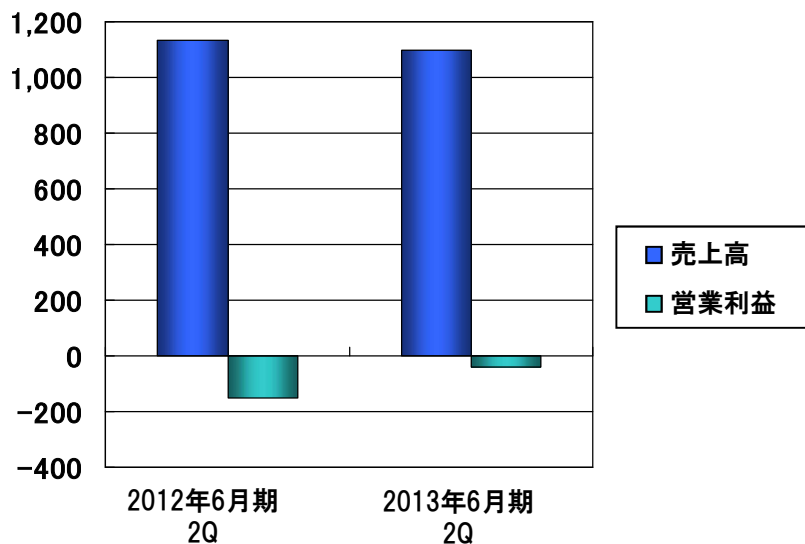
2013年6月期2Q累計

Δ61(91)

※IT製品のテストング事業(エクスカル)は、第2四半期より持分法適用会社とし連結除外となったため、当第2四半期累計の中には第1四半期の数字のみ含まれております。

# セグメント情報 ITソリューション事業

(単位:百万円)



## 事業の概況

- 製造業の基幹システム更新、通信事業者のシステム投資等の開発案件が増加しているものの、厳しい事業環境が続く。
- 運用サービス単価が低下傾向。

アクモス株式会社 (製造・公共系)

ACMOSソーシングサービス株式会社 (医療・製造系)

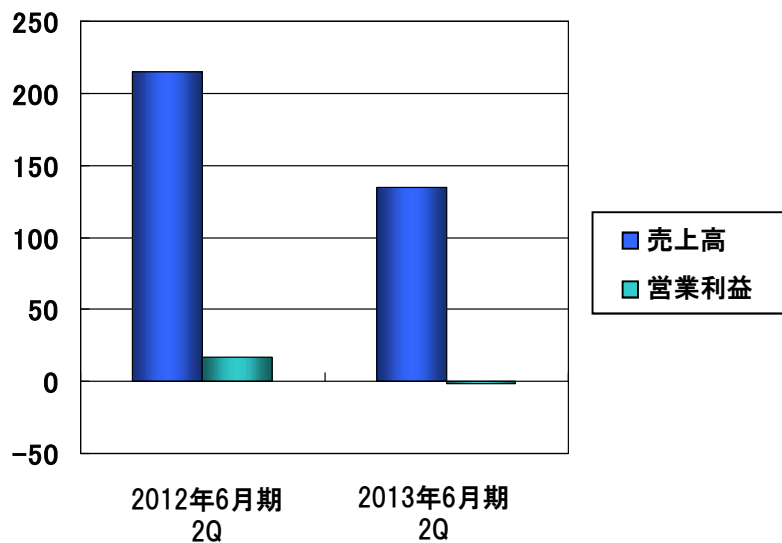
- 発注金額の抑制傾向継続、売上は前期比で3.4%減。
- 前四半期に比べ節電対策シフトの影響が少なかったこと、プロジェクト単位の業務管理強化などにより、営業利益の減少幅を縮小。
- アクモスにおいてシステムインテグレーション製品の共通ブランドとして『SYMPROBUS』使用開始。通信指令システムの受注活動を推進。

(単位:千円)

	2012年6月	2013年6月	増減	
	第2四半期	第2四半期		
<b>売上高</b>	<b>1,134,510</b>	<b>1,096,068</b>	<b>△38,442</b>	<b>△3.4%</b>
<b>外部</b>	<b>1,095,915</b>	<b>1,049,334</b>	<b>△46,580</b>	<b>△4.3%</b>
<b>内部</b>	<b>38,595</b>	<b>46,733</b>	<b>8,137</b>	<b>21.1%</b>
<b>営業利益</b>	<b>△150,361</b>	<b>△39,341</b>	<b>111,020</b>	<b>—</b>

# セグメント情報 ITサービス事業

(単位:百万円)



## 事業の概況

### 株式会社ジイズスタッフ(情報処理サービス)

- 新規開拓が進むも売上規模は少額。売上は前期比10.9%減。少人数体制のため受注拡大への対応が困難に。従業員の採用を行い、社内体制強化を図る。

### 株式会社エクスカル (IT製品のテスト)

- 第2四半期より持分法適用会社となったため、第1四半期の業績のみ反映。

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月	増減	
	第2四半期	第2四半期		
<b>売上高</b>	215,036	134,700	△80,336	△37.4%
<b>外部</b>	215,036	134,700	△80,336	△37.4%
<b>内部</b>	—	—	—	—
<b>営業利益</b>	16,581	△1,528	△18,110	—

# 第22期 経営計画の進捗について

## テーマ 1

### 事業再構築～事業基盤の強化～

◆**組織改革** ・顧客別組織編成  
⇒2012年7月1日付で顧客別に組織再編を実施

・品質保証機能強化、プロセスの可視化  
⇒プロジェクト管理ツール導入完了。社内でルール化を推進

◆**人材育成** ・技術研修の実施  
関連するビジネススキル開発と併用し、適応力向上、人材化  
⇒当期は第2四半期末までに8回の技術研修を実施、  
延べ85名が参加

カリキュラム	回数	日数
サーバー保守・運用・管理	2回	計4日間
C#プログラミング	2回	計4日間
C++デザインパターン基礎演習	1回	2日間
ソリューション営業入門	1回	2日間
Android基礎	2回	計4日間

# 第22期 経営計画の進捗について

## テーマ 2

### 新規事業創出

- ◆ソーシャルソリューション事業部を新設
- ◆システムインテグレーション関連製品共通ブランドに『SYMPROBUS』を採用、2012年12月25日より使用開始  
⇒通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)の受注活動を推進



#### 通信指令システム

第21期に標準機能開発が完了。  
CTI(電話・コンピュータの統合システム)とGIS(地理情報システム)を活用したシステムに、信頼性の高い既存機器を組み合わせることにより、省スペース・ローコスト・高拡張性を実現。

消防救急無線は、2016年5月末迄にデジタル化が求められており、デジタル化にあわせたリプレイスや新規導入の需要が高まっている。

現在、全国の市町村・消防署等を訪問し、通信指令システムのデモンストレーションを実施している。

## 第22期 経営計画の進捗について

### 私たちの暮らしを支えるシステム **SYMPROBUS**

SYMPROBUS(シンプロバス)は、アクモスのシステムインテグレーション製品の共通ブランド名です。

SYM(シン)は「ともに」

PROBUS(プロバス)は「誠実」

この二つの言葉を組み合わせたブランド名には、情報通信企業として、協調を大切にする「ともに」という気持ちと、安全を重視する「誠実」な考え方に基づいて、私たちの暮らしにかかわるシステムインテグレーションに携わっていきたいという当社の思いを込めています。

SYMPROBUSシリーズは、様々な企業の優れた製品や最新のソリューションを、当社の技術やアイデアと組み合わせてシステムに統合し、私たちの暮らしの安心と安全を支えています。

- ・SYMPROBUS Fシリーズ 消防通信指令システム
- ・SYMPROBUS GISシリーズ GISパッケージソフト
- ・SYMPROBUS ハード製品 CTIアダプター



※「SYMPROBUS」は商標登録出願中です。

## 第22期 業績予想

連結 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2013年6月期	2013年6月期
	第2四半期実績	通期予想
売上高	1,184	3,100
営業利益	△61	30
経常利益	△61	50
当期純利益	△60	35
1株当たり当期純利益(円)	△619.53	360.84

単体 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2013年6月期	2013年6月期
	第2四半期実績	通期予想
売上高	943	2,500
営業利益	△30	50
経常利益	△19	80
当期純利益	△22	75
1株当たり当期純利益(円)	△227.77	773.24

※ 国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において売上が多く計上される傾向があります。

※ 2013年6月期の予想には新規M&Aに等による影響は見込んでおりません。

※ 2013年6月期の予想数値は、2012年8月3日発表の「平成24年6月期 決算短信」に基づいております。発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

## < 参考資料 >



# (Info.) アクモスグループ事業

## アクモス株式会社

### ソーシャルソリューション事業部

- ・通信指令システム
- ・CTI
- ・GIS
- ・スマートデバイス

### 事業本部

- ・IT基盤設計・構築
  - ・SI・ソフトウェア開発
  - ・システム運用・保守
- 公共  
産業・製造系企業  
医療機関など

## ACMOSソーシングサービス株式会社

- ・病院システム運用開発
- ・業務系、基幹系システム開発
- ・ヘルプデスク

## 株式会社ジイズスタッフ

- ・情報処理サービス
- ・BPOサービス



単体ITソリューション群



ITソリューショングループ企業



ITサービスグループ企業

## (Info.)アクモスグループ一覧

### アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円  
売上高 2,394百万円  
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階  
TEL:03-5217-3121 FAX:03-5217-3122  
<http://www.acmos.co.jp>

お問合せ先 [hp.biz@acmos.co.jp](mailto:hp.biz@acmos.co.jp)

主要取引先 株式会社日立製作所、株式会社日立情報制御ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社常陽銀行、株式会社日立ビルシステム、日立電線株式会社、日立建機株式会社、アルパイン株式会社、KDDI株式会社、官公庁他



### ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円  
売上高 270百万円  
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階  
TEL:03-5217-3332 FAX:03-5217-3334  
<http://www.acmos-ss.jp>

お問合せ先 [info@acmos-ss.jp](mailto:info@acmos-ss.jp)

主要取引先 日本電気株式会社、NECソフト株式会社、東京医科大学病院、埼玉病院他



### 株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円  
売上高 273百万円  
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル3階  
TEL:03-5217-3131 FAX:03-5217-3134  
<http://www.gstf.jp/>

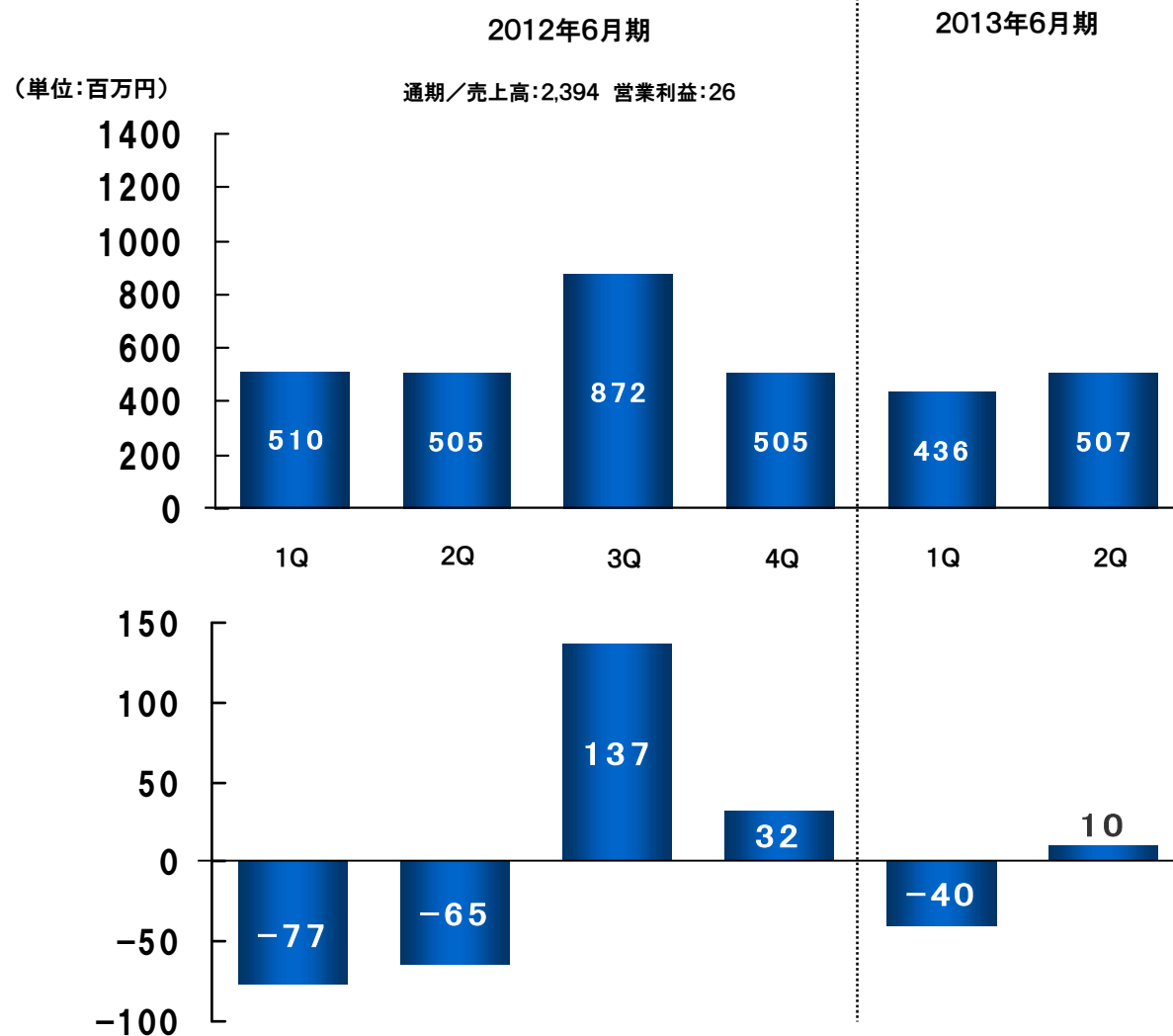
お問合せ先 [inquiry@gstf.jp](mailto:inquiry@gstf.jp)

主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合他



2012年12月末現在(売上高は前期実績)

# 単体 売上高・営業利益の推移



売上高

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

営業利益

# 単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	951,516	860,176	買掛金	36,953	37,314
受取手形及び売掛金	302,840	280,972	長期借入金（1年内）※1	105,000	105,000
たな卸資産	19,715	81,533	未払金	45,775	48,939
その他	79,269	22,596	未払費用	133,466	90,774
流動資産合計	1,353,340	1,245,279	賞与引当金	10,901	18,045
有形固定資産	184,469	180,818	その他	74,105	50,953
無形固定資産	41,916	42,154	流動負債合計	406,202	351,027
投資その他の資産	401,011	401,134	長期借入金	118,750	96,250
固定資産合計	627,397	624,107	その他	13,203	10,820
			固定負債合計	131,953	107,070
			負債合計	538,156	458,097
			株主資本合計 ※2	1,439,517	1,407,725
			評価・換算差額等合計	3,063	3,562
			純資産合計	1,442,581	1,411,288
資産合計	1,980,738	1,869,386	負債純資産合計	1,980,738	1,869,386

※1 前期末、当期末ともに、短期借入金60,000千円を含んでおります。

※2 前期末、当期末ともに、自己株式△53,911千円を含んでおります。

## 単体損益計算書(要約)

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	第2四半期	第2四半期		
売上高	1,015,738	943,931	△71,807	△7.1%
営業利益	△143,288	△30,170	113,118	—
経常利益	△127,478	△19,017	108,460	—
当期純利益	△132,002	△22,092	109,910	—

### 営業利益

- ・売上原価において、節電対策シフトの影響が前期比で減少したこと、業務管理強化により、外注費を抑制
- ・販管費及び一般管理費において、研究開発費が前期比で28,286千円減少

## ■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL:03-5217-3123